

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

長期ビジョン

環境試験業界において世界的トップランナーであり続け、プログレッシブとイノベーターを継承するグループ

売上高
700億円営業利益
105億円営業利益率
15.0%ROE
12.0%以上

② 中長期の経営戦略

1. 事業戦略

AI半導体、自動運転、衛星通信分野に対応した製品群とカスタム対応力。日本・米国・中国を重視し、グローバル競争優位性を確立

3. モノづくり改革

IT・デジタル技術で省力化・自動化を強力推進。製品リードタイム短縮と原価改善で収益性向上

2. サービス事業戦略

受託試験事業で「あいち次世代モビリティ・テストラボ」を中心に収益拡大。IT・デジタル活用で装置遠隔監視など顧客課題解決サービス提供

4. 新規事業戦略

CAE関連サーマルソリューションサービスと食品機械事業の拡大で将来の収益の柱となる事業創出を目指す

③ 対処すべき課題

① 経営環境への対応

- EV・バッテリー生産用途の需要減少に対し、AI半導体・自動運転・衛星通信市場の需要獲得
- 受注残高消化と生産能力増強による納期対応
- グローバル市場での競争優位性確立（中国・欧州・韓国展開強化）

② 組織・人材の強化

- 企業理念「THE ESPEC MIND」の浸透と自律的人材育成
- DX・グローバル人材育成と多様な人材の活躍推進
- 次世代経営人材育成と学び直しの推進

③ サステナビリティ経営

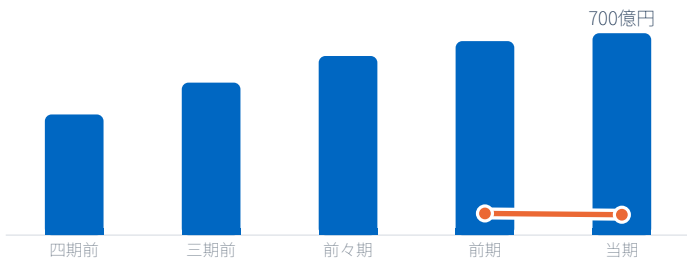
- グローバルな事業を通じた社会課題解決と責任ある製品サービスの提供
- 環境配慮と第8次環境中期計画の達成
- グループガバナンスとリスクマネジメント強化

面接で使えるポイント

- 中期経営計画「PROGRESSIVE PLUS 2027」で2027年度売上高700億円、営業利益105億円達成を目指す
- AI半導体、自動運転、衛星通信分野へのターゲット市場転換で成長ドライバー確保
- 愛知県常滑市の「あいちバッテリー安全認証センター」を中心としたサービス事業拡大

証券コード 6859

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
700億円営業利益率
10.1%財務健康度
78点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 62.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収
793万円

電気機器内 63位/225社

平均年齢
39.7歳

電気機器内 210位/225社

平均勤続
14.4年

電気機器内 146位/225社

女性管理職
8.2%

電気機器内 48位/182社

男性育休
46.7%

電気機器内 157位/171社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社がエスベ

